

平成29年5月12日

岸和田市長 信 貴 芳 則 様

岸和田市議会議長 岸 田 厚

平成28年度岸和田市議会政策討論会提案書

別紙のとおり、標記について提案書を提出します。

平成28年度岸和田市議会政策討論会

# 提 案 書

平成29年5月12日

岸 和 田 市 議 会

## 『地場産業の発展について』の提案書

### 【テーマ】

「地場産業の発展について」

### 【主旨】

本市の地場産業に光を当て、農林水産業及び商工業の発展について考える。

### 【現状】

- 岸和田の伝統産業でもある木綿繊維産業は、昭和40年頃までは活発であったが、全国的に生活様式の大きな変化や海外からの安価な輸入品の増加等により、需要が低迷し厳しい状況にある。また、従事者の高齢化による自然減が続く中で、様々な振興施策を有効に活用し、意匠開発や展示会等の需要開発を行っている事業者もある一方、生活様式の変化に伴う新しいニーズへの対応が進まないケースもある。
- 岸和田は海から山までの地形を生かして、多様な産業がある。農産物では、ミカン・桃・水茄子・海産物にも恵まれている。加工食品の蒲鉾・魚肉すり身の天ぷら等の製造会社がある。工業では、ガラスやレンズなど眼鏡や工業用のものまで製造されている。
- 岸和田の産業の特徴の中に、平成13年から平成25年の間に市内の3つの商店街が解散している。これは駅前の開発などがあつたからかもしれないが、商店の半減を深刻に受け止めた。
- 繊維産業などは随分衰退したが、大阪鉄工金属団地や岸和田工業センターの集積地が有り、阪南2区や新たに丘陵地区で企業立地の促進を図っている。

### 【本市の課題】

- 製造・加工業もほとんどが下請け・孫請けという現状であり、完成品を出荷できるという状況ではない。親会社の指示通りに仕事をこなすことで『良』としていると思われる。従って、価格競争に陥り経営危機を招くこともあり、下請業者が衰退するという現況であると思われる。
- 『岸和田ブランド』に認定された商品は増えているものの、その広がりが少ないと考える。まして、認定する側は認定したものの、それら商品のPRや販路拡大の取組が見受けられない。また、認定方法にも考慮すべきところがあると思われる。
- 観光産業には力を入れているが、宿泊場所が無いことは大きな弱点である。

- 農林水産業において素晴らしい素材が多くあり、また、特化された技術力を持つ企業が複数あるが、それらの知名度や販売力を十分に広げることが出来ていない。
- 農業従事者の平均年齢は73歳となっており、5~10年の間に後継者問題を解決しなければならない。

#### 【課題解決に向けた提案】

1. **第一次産業**において、農産物や海産物そのものに特徴を見出し、規格を定めてブランド化する。また、加工品や飲食店の名物メニューの開発を全市的に取り組む。行政としては、それをコーディネートし宣伝をする事によって販路拡大に繋げていく。  
**第二次産業**においては、本市の工業集積地内にある企業の溶接技術力や錆びない釘づくりの現場など、様々な特徴を持った企業を見出し、見学など若い人向けにツアーを組んで、地元企業の素晴らしさを再認識して貰う。行政としては、中小企業の支援体制（資金・発信・販路）の強化や、市内の起業家、規模を拡張しようとしている事業者への財政的なバックアップ、情報提供、アドバイスも含めた支援を強化する。
2. **岸和田市産業振興新戦略プラン【改訂版】**の中に頑張る事業者をとことん応援するとある。市民が相談しやすい窓口の一本化等とあるが、行政側もしっかり補助していく取り組みを具体的に組織化、明確化することが不可欠である。
3. **産業振興新戦略プラン策定**にあたり重視する考え方が示されているが、肝心の企業調査をせずして効果的・効率的な連携等ができるのか疑問に思う。また、活力強化応援プログラムに示されている基本方針の実施もデータベースなくしては実効性に欠けるのではないか。従って、早急に市内企業調査を実施すべきである。
4. 産業振興策として、**事業所訪問**をすることによって実態の把握をし、そこから「企業支援と地域貢献」をテーマに議論をする。また、岸和田の“ものづくり”に対するプライド形成とブランド周知の為に、「ものづくりフェスタ」と「オープンファクトリー(工場見学会)」に取り組む。結果として、新しい取引の成立、地元高校生の就職、社内清掃の習慣などが期待される。
5. 農林水産商工の連携を強化した上で、生産・加工・流通までを一体的に担う**六次産業化**に取り組む。また、各産業の合体を図るため、同業者の集積とオーガナイザーの発掘が必要である。オーガナイザーについては、市内だけでなく市外からの人材や企業も広く検討対象に入れることを考えてはどうか。